

記者発表資料

直下型地震を想定した地震防災訓練を実施
～発災直後の初動対応から被災対応等を訓練～

延岡河川国道事務所では、直下型地震を想定した地震防災訓練を実施します。
今回は、防災業務計画及び事業継続計画（BCP）に沿って、体制発令から初動体制の確認を行い、円滑かつ迅速な防災体制の構築、直轄管理施設の点検、統合災害情報システム（DiMAPS）の習熟といった机上訓練を行います。
河川では、河川管理施設の点検を実施し、被災状況の確認を図るとともに、点検結果を各種システムへ入力することを通じ、機器操作の習熟を図ります。
道路では、東九州自動車道において被災が発生し、東九州自動車道（北浦IC～北川IC）を全面通行止（机上）（※1）を想定した訓練を行い、関係機関等との情報伝達及び施設点検手順の確認を行います。

- 日時 令和2年9月1日（火）8時～12時頃
- 場所 国土交通省九州地方整備局 延岡河川国道事務所 3階防災情報室
- 令和2年度訓練内容
 1. 地震発生時の時間外情報伝達訓練
 2. 地震発生後の参集訓練
 3. 初動体制の確認訓練
 4. 統合災害情報システム（DiMAPS）での情報共有訓練※ 詳細な訓練内容は、別紙を参照してください。
- その他 台風、大雨・洪水警報の発令、地震発生等により訓練を中止する場合があります。なお、今回の訓練では津波を対象としていません。

※1 机上訓練であり、実際に通行止は行いません。

※ 9月1日は防災の日です。台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、それらの災害に対処する心構えを準備するために昭和35年（1960年）に内閣の閣議了解により制定されました。また、昭和57年（1982年）からは、9月1日の「防災の日」を含む1週間（8月30日から9月5日まで）が「防災週間」と定められています。

－問い合わせ先－

国土交通省 九州地方整備局 延岡河川国道事務所

住所：延岡市大貫町1丁目2889

TEL：0982-31-1155（代表）

【事務】事務副所長 只松 晃（内線202） 総務課長 西山 大（内線211）

【河川】技術副所長 安部 剛（内線204） 調査第一課長 大塚 健司（内線351）

【道路】技術副所長 川内 学（内線205） 道路管理課長 相島 伸行（内線431）

別紙

○主な訓練スケジュール

- 8 : 00頃～ 地震発生（震度6強）
 - ・ 職員の地震発生時の時間外情報伝達訓練
 - ・ 地震発生後の参集訓練（徒歩、自転車等）
 - ・ 道路緊急点検（パトロール）出動訓練（机上訓練）

- 8 : 10頃～ ・ 電気通信施設点検
- ・ 庁舎等の外部損傷点検調査訓練

- 8 : 15頃～ ・ C C T Vによる河川空間及び路面監視

- 8 : 20頃～ ・ 宿舎被害確認訓練
- ・ 防災情報板、道路防災システム等を用いた情報の共有訓練

- 8 : 40頃～ ・ 被災箇所の情報伝達訓練

- 8 : 45頃～ ・ 災害対策支部と出張所とのT V会議（第1回）

- 9 : 00頃～ ・ 被害状況の確認や報告の訓練
- ・ 統合災害情報システム（D i M A P S）等を用いた情報共有訓練

- 9 : 30頃～ ・ 防災エキスパート制度を活用した応急復旧方法の検討（W E B会議システムを活用）

- 11 : 30頃～ ・ 災害対策支部と出張所とのT V会議（第2回）

- 12 : 00頃 訓練終了